

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369



10月13日谷戸沢グラウンドにて恒例の町民体育祭が開催され、晴天のなか多くの町民の皆さんが熱戦をくりひろげました！

平成 25 年 第 3 回定例会

| | |
|---|-----|
| 新しい議会構成が決まりました | 2P |
| 日の出町職員の再任用に関する条例他20議案を審議 | 4P |
| 平成24年度決算審査特別委員会(一般・特別会計)の要旨 | 7P |
| 「町政を問う」9人の議員 一般質問 | 12P |
| 「健康マイレージの導入を」 | 12P |
| 「国民健康保険の動向は」、「子宮頸がん予防ワクチン接種の実施状況は」 | 13P |
| 「町と日本自動車連盟との包括協定は」、「ひのでトマトと農協直売所で町農業振興を」 | 14P |
| 「現在改定中の新地域防災計画について問う」、「欠陥機オスプレイの横田基地配備について問う」 | 15P |
| 「歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを問う」、「町長の町づくりについて問う」 | 16P |

役職・委員会等委員構成表

| 議席番号 | | 1 | 2 | 3 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 定数 | |
|---------------|-------------------|------|-----|------|-------|------|------|------|-----|-----|------|-------|------|------|----|------|------|----|---|
| 種別 | 氏名 | 川脇敏徳 | 東玉喜 | 小玉正義 | 折田眞知子 | 濱中映慈 | 平野隆史 | 濱田敏郎 | 星野茂 | 嘉倉治 | 大澤言枝 | 田村みさ子 | 青鹿和男 | 神田芳男 | 東亨 | 森田征四 | 加藤光徳 | | |
| 議長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | 1 |
| 副議長 | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | 1 |
| 監査委員 | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | 1 |
| 議会運営委員会 | | | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | 長 | | ○ | | | | 副 | | 7 |
| 常任委員会 | 総務まちづくり常任委員会 | | | 長 | | | ○ | | | | 副 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 8 |
| | 厚生文教常任委員会 | 副 | ○ | | ○ | ○ | | ○ | 長 | ○ | | | ○ | | | | | | 8 |
| 農業委員 | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | 1 |
| 一部事務組合 | 阿伎留病院企業団議会 | | | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | ○ | | 3 |
| | 秋川衛生組合議会 | | | ○ | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | 3 |
| | 西秋川衛生組合議会 | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | 3 |
| | 秋川流域斎場組合議会 | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | 3 |
| 外部の協議会・審議会 | 三多摩上下水及び道路建設促進協議会 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | ○ | 4 |
| | 秋川流域下水道促進協議会 | | | | | | 理 | ○ | ○ | | 理 | | | | | | | ○ | 5 |
| | 西多摩地域広域行政圏協議会審議会 | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | ○ | 3 |
| | JR五日市線改善促進協議会 | | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | | ○ | | | | | ○ | 7 |
| | 三鷹立川間立体化複々線促進協議会 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | ○ | 2 |
| 各種協議会・委員会・審議会 | 国民健康保険運営協議会 | | | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | | | | | | 3 |
| | 青少年問題協議会 | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 都市計画審議会 | | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | 4 |
| | 社会福祉協議会 | | | | | | ○ | | 理 | | ○ | | | | | | | | 3 |
| | 民生委員推薦会 | | | | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | 2 |
| 議会だより編集委員会 | | ○ | ○ | ○ | 副 | ○ | | | | | | | 長 | | | | | | 6 |

※ 表内記号の説明 長=委員長 副=副委員長 理=理事

三多摩上下水及び道路建設促進協議会 1=第1委員会(上水道) 2=第2委員会(下水道) 3=第3委員会(道路)

定例会

審議内容

主な議案として、条例改正では日の出町職員の再任用に関する条例。この条例については、年金の支給年齢の引き上げによる、定年退職者等の無収入期間が発生しないよう制定された。

また、契約変更議案の御殿場橋架け替え工事（第2期）請負契約の変更については、安全対策のため、防護柵を追加するための増額変更。

御殿場については、平成23年9月から平成24年6月まで第1期工事が施工され、第2期工事は平成24年6月から施工された。

決算審査特別委員会

平成24年度一般会計及び特別会計決算を審査

最終日

【人事】…………… 同意

日の出町農業委員会委員の推薦について
委員 神田 芳男 議員

日の出町監査委員の選任について
委員 濱田 敏郎 議員

【平成24年度各会計決算】 …… 認定

9月9日に決算審査特別委員会で審査し、最終日に審議

【陳情】

（25陳情第3号）ロタウイルス・水疱瘡・流行性耳下腺炎（おたふく風邪）のワクチンへの公費助成を求める陳情 …… 趣旨採択

【議員提出議案】

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方財源を確保」のための意見書 …… 可決

「要支援者に対する介護保険サービスの継続」を求める意見書 …… 否決

日の出町賦課徴収条例等の一部を改正する条例（一部改正）

地方税法の改正に伴う改正。

日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例（一部改正）

地方税法の改正に伴う改正。

日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例（一部改正）

地方税法の改正に伴う改正。

日の出町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例（一部改正）

地方税法の改正に伴う改正。

日の出町介護保険条例の一部を改正する条例（一部改正）

地方税法の改正に伴う改正。

【補正予算】…………… 可決

平成25年度日の出町一般会計・特別会計の補正予算

【契約変更】…………… 可決

御殿場架け替え工事（第2期）請負契約の変更について

初日

【人事】

日の出町議会議長選挙
議長 加藤 光徳 議員

日の出町議会議副議長選挙
副議長 嘉倉 治 議員

日の出町議会常任委員会委員の選任について

日の出町議会運営委員会委員の選任について

【条例の制定・改正】…………… 可決

日の出町職員の再任用に関する条例（制定）

日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（一部改正）
職員間の給料の均衡を図るため。

常任委員会

厚生文教常任委員会

（25陳情第3号）ロタウイルス・水疱瘡・流行性耳下腺炎（おたふく風邪）のワクチンへの公費助成を求める陳情

9月2日から17日までの16日間の会期で開催。

初日は正副議長・議会運営委員会委員・常任委員会委員の改選及び条例の改正・補正予算・契約変更等13議案が審議された。2日目・3日目には9人の議員による町政全般に関する21項目の一般質問が行われ、最終日には平成24年度各会計決算等6議案、議員提出議案2議案、陳情1件が審議された。

議 案 と 結 果

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

| 番号 | 議 案 名 | 自 | 公 | 町 | 共 | 志 | 結 果 |
|----|--------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|
| 43 | 日の出町職員の再任用に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 44 | 日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 45 | 日の出町賦課徴収条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 46 | 日の出町都市計画条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 47 | 日の出町国民健康保険条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 48 | 日の出町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 49 | 日の出町介護保険条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 50 | 平成 25 年度日の出町一般会計補正予算（第 3 号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 51 | 平成 25 年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 52 | 平成 25 年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 53 | 平成 25 年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第 1 号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 54 | 平成 25 年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 55 | 平成 24 年度日の出町一般会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | × | × | ○ | 認 定 |
| 56 | 平成 24 年度日の出町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認 定 |
| 57 | 平成 24 年度日の出町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | × | × | ○ | 認 定 |
| 58 | 平成 24 年度日の出町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 59 | 平成 24 年度日の出町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認 定 |
| 60 | 御殿橋架け替え工事（第 2 期）請負契約の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 61 | 日の出町監査委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同 意 |

<議員提出議案>

| 番号 | 議 案 名 | 自 | 公 | 町 | 共 | 志 | 結 果 |
|----|--------------------------------------|---|---|---|---|---|-----|
| 4 | 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方財源を確保」のための意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 決 |
| 5 | 「要支援者に対する介護保険サービスの継続」を求める意見書 | × | × | ○ | ○ | ○ | 否 決 |

<陳 情>

| 番 号 | 陳 情 名 | 陳 情 書 | 審議結果 |
|------------|---|----------------------------|------|
| 25 陳情第 3 号 | ロタウイルス・水疱瘡・流行性耳下腺炎（おたふく風邪）のワクチンへの公費助成を求める陳情 | 新日本婦人の会日の出支部 代表 森 山 幸 子 | 趣旨採択 |

各会派の名称と所属議員

| 会 派 名 | 略 号 | 所 属 議 員（★印…会派代表者） | 人 数 |
|---------------|-----|--|------|
| 自 民 蒼 政 ク ラ ブ | 自 | ★平野隆史・東 亨・神田芳男・加藤光徳・星野 茂 濱田敏郎・濱中映慈・小玉正義・東 玉喜・川脇敏徳 | 10 人 |
| 公 明 党 | 公 | ★大澤言枝・嘉倉 治 | 2 人 |
| 町 民 党 | 町 | ★田村みさ子・青鹿和男 | 2 人 |
| 日 本 共 産 党 | 共 | ★折田真知子 | 1 人 |
| 志 政 会 | 志 | ★森田征四 | 1 人 |

会派の紹介・異動（11月1日付で新しい会派の届け出並びに所属議員の異動がありました）

| | | | |
|---------------|---|---------------------------------------|-----|
| 自 民 蒼 政 ク ラ ブ | 自 | ★平野隆史・東 亨・加藤光徳・星野 茂 小玉正義・東 玉喜・川脇敏徳 | 7 人 |
| 政 和 会 | 政 | ★濱中映慈・神田芳男・濱田敏郎 | 3 人 |

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方財源を確保」
のための意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林のもつ地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、我が国は、平成 25 年度以降においても、京都議定書目標達成計画に掲げられたもの(第 1 約束期間における温室効果ガス排出削減義務 6%のうち、3.8%を森林吸収量で確保)と同等以上の取り組みを推進することとしている。

このような経過も踏まえ、「地球温暖化対策のための石油石炭税の税率の特例措置」が平成 24 年 10 月に導入されたが、用途は、CO₂ 排出抑制対策に限定されており、森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保については、「早急に総合的な検討を行う」との方針に止まっている。

もとより地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、その結果、山そのものが荒廃し、自然災害等の脅威に国民の生命財産が脅かされるといった事態が生じている。

これを再生させることと共に、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源を講ずることが急務である。

よって、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源としても最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出する。

平成 25 年 9 月 17 日

東京都西多摩郡日の出町議会

内閣総理大臣 環境大臣
財務大臣 経済産業大臣
総務大臣 衆議院議長
農林水産大臣 参議院議長
様

各会計の決算を集中審議（9月9日）

平成24年度

決算を集中的に審査する決算審査特別委員会が行われ、活発な質疑応答が交わられました。そして、17日の本会議最終日には、委員長による審査経過・審査結果の報告及び委員長報告に対する賛成・反対討論を受けた後、採決により5つの会計決算全てが認定されました。

主な 質疑 Q&A

一般会計

Q 経常収支比率などの財政指標及び健全化判断比率について。

A 財政指標については、おおむね他の市町村と変わらないと理解している。健全化判断比率については実質赤字等は生じていない。

Q 自主財源比率の推移と財源確保は。

A 前年度比率で3%減少。公有財産の活用等により、50%前後で推移する見込み。

Q 特別会計への繰出金について、歳出削減策及び事務事業の見直しについて。

A 一般会計に過剰な負担にならないよう検討してきた。事務事業の見直しについては大分改善されたが、不断に見直していく。

Q 債務の返済計画も含めた今後の財政運営は。

A 地域振興費、税収の増等自主財源の確保を図っていく。

Q 公共施設の改善計画に基づく、今後の起債見込みを含めた町債残高の推移について。

A 全体の財政的な調査、計画ができた段階で見直しを考えていく。

Q 公共施設全体の築年数が入った保全計画の作成について。

A 施設の保全については、財政的な見直しを立てて実行に移していきたい。

Q 公有財産の増減内訳及び、内容及び台帳の整備状況について。

A 三吉野桜木地区、大久野地区の公園の増、アクセス道路の土地買収、本宿町営住宅、消防詰所の建て替え等。

A 台帳の整備については、現在、行政普通財産の振り分けの確認作業を行っている。早急に公表できるよう努力をしていきたい。

Q 固定資産税など町税の今後の見直しについて。

A 経済情勢、企業の業績等に左右される。今後経済情勢等を見極め、適正な予算計上に努める。

Q コンビニ収納代行業務委託の効果について。

A 25年度から開始したので効果についてはまだ分析できていない。口座振替の補完的な対応として推進していきたい。

Q 不納欠損の増の理由及び今後減らしていくための方策は。

A 平成21年度に整理したものが、3年経過して不納欠損となった。今後は減っていく方向である。

Q 臨時財政対策債の借入の考え方及び交付税への反映額について。

A 循環組合からの減額分についての借り入れ。後年度に交付税に算定されている。



Q 共同電算システム経費の、発注額の妥当性について。

A 4カ町村の考えを調整しながら現在きている。なるべく共同化をし、金額の妥当性等を4カ町村で検討していく。

Q 高齢者医療費無料化について、2割負担に制度改正が行われた場合、負担増となるが町はどう考えているか。

A 国の状況等が具体化するに従って対応を考えていく。

Q 子ども家庭支援センターについて年々経費が増となっているが、その状況について。

A 24年度からショートステイ事業を行っており、利用者が増となったため経費が増えている。

Q 保育所運営費の増加理由と今後の推移及び待機児童解消の目途について。

A 児童数が延べ420名増えているため。待機児については現在36名。新しい園を建設する方向で協力を頂いており、完成すれば解消すると考えている。

Q 子育てクーポンについて、所得制限の考えは。

A 他の制度も勘案しながら、今後検討を加えていきたい。

Q 特定健康診査及びがん検診等の受診率向上に向けた取り組みについて。

A 平日のみの実施を、土曜日、日曜日に広げ、実施している。検診の周知について、今後ホームページの活用も含めてさらに検討していきたい。

決算討論

一般会計

賛成 自民蒼政クラブ 星野 茂

平成24年度の国の経済は世界経済の減速等を背景として景気は弱い動きとなり底割れが懸念される状況であった。このような財政環境においても施政方針に示されている施策・事業は実施され、町民の生活向上に寄与する事業が随所に見つけられる。

歳入では、財政の根幹である町税は減収となつているが、徴収率の向上と補助制度の活用、町有財産の運用などの積極的な取り組みは評価できる。

歳出については、町の主要施策である福祉、安全・安心、教育、産業振興などにおいてバランスのとれた施策が展開されている。なかでも保育園の待機児対策としての取り組みや、高齢者の健康相談と健康増進事業、外出支援バスの運行時間の延長などは町民サービス向上の現れとして一定の評価をする。

財政指標については、財政力指数の若干の低下は見られるが、経常収支比率は改善された。健全化判断比率についても財政の健全化に取り組みられていることが伺える。尚、基金については残高の回復に向けた積極的な努力を要望する。

今後とも町は、行政としての説明責任をしっかりと果たし情報発信に努め、より信頼される役場になることを重ねて要望し賛成討論とする。

反対 町民党 青鹿 和男

過去の予算執行を精査し、経済性、効率性、効果性を測定し、整理することが求められている。①金をいくら使ったかではなく住民のためにどのような仕事をしたか。その事業量や事業効果などを表示した資料を求める。②新しい行政課題に対応できているか、チェックをするための時系列で比較する補助金等の一覧の資料を求める。③公有財産の効率的・有効的な活用を促進するため、住民の意見を十分組み入れる計画案の策定を求める。④新しい公会計制度の整備と債務一覧に伴う返済計画一覧を求める。⑤事務事業報告書に掲載する基礎となる数値などに、どこから用いられているかの表記することを求める。⑥執行機関の管理機能として行われている財政運営の原則を可能な限り「制度化」する条例の制定を求める。⑦議会改革特別委員会において「予算・決算特別委員会」の常任委員会化が図られた。26年3月の予算審査から実施予定となっている。十分なる対応と体制の整備を求める。以上、7点の指摘や提案をする。町民党は、健康や安全・安心な暮らし、子育て支援の推進、高齢者施策、教育環境の一層の整備などに反対するものではありません。以上、申し述べ、本決算の反対討論とする。



きたい。

Q 塩田農産物普及センターの経営状況について。

A 24年度の売上約1千100万円に上がり、収益も上がっている。トマトの収穫期間を増やす作付等鋭意取り組んでいる。

Q 三吉野油田地区の整備工事内容及び雨水排水の改善状況について。

A 側溝のふた掛け工事及び泥だめますの設置工事を実施した。雨水については、吸い込み槽を作って対応している。

A 若年層の方については、胃がん検診等を利用いただきたい。

Q 人間ドッグ助成を働き盛りの世代へできないか。

Q 個別収集のモデル事業を実施しているが、問題点・改善点について。

A ごみを出す時間が守られないことが当初見受けられた。ごみの出し方のルールを説明会の席上でお願いしてい



平成24年度の決算は「躍進 ひので！ニュー5大作戦」を柱とした各種事業を推進していくため、町民の健康や安全・安心な生活確保をはじめ、子育て支援事業の推進・高齢者のための各種施策・教育環境のより一層の充実などを中心に、住民サービスの維持・向上を傾注した予算編成がなされ、評価したい。

固定資産税の減収・循環組合からの地域振興費の4億円の減額は、24年度歳入には大きく影響したものと考える。

本決算においても、健全な財政運営に努められ、4つの健全化判断比率が示され、特に問題となる数値はないと認める。

町税については、経済の動向に左右されることから、経済情勢の客観的・的確な見極めが求められる。収入源の確保や増加する町の人口、住民の多様なニーズに対応する事が難しくなることも考えられる。

子育て支援事業・高齢者のための各種施策など、思い切った見直しも視野に入れるべき時ではと考える。

町民の期待に応え、安定した行財政運営が推進できるよう、恒久的財源確保に向けた事業展開を執行し各種事業の見直しと、更なる行財政改革に積極的に取り組んでいただきたいことを申し上げ、賛成討論とする。

賛成

公明党 大澤 言枝

平成24年度は住宅の新築などの増加が見込まれ税収の伸びも期待されていた。

固定資産の評価替えに伴い税収が5000万円あまり減収、広域資源循環組合からの地域振興交付金が4億円減るなど厳しい財政運営となった。マイナスを補填する臨時財政対策債などの借入れが5億円余り行なわれた。

今後も税収の増加要因はなく、経常収支比率も高く、優先順位の明確化や将来計画を示し、正確な「入り」を図り出を制す「財政運営」が求められる。

歳出では子育て世代の流入に伴い保育園の増設などで待機児対応が進んだが、解消までにはいたっていない。学童保育の増設など学区区の変更に伴い改善が行なわれた。

第3セクターサービス総合センターへの業務委託が進んでいるが、日の出山荘・つるつる温泉・塩田農産物普及センターなど黒字化が求められ、思い切った見直しを求めらる。

事務事業のIT化が進み、業務委託などが進んでいるが、委託料や物件費などの、発注額の妥当性はブラックボックス化している。内容の検証が求められる。以上反対討論とする。

反対

日本共産党 折田 真知子

Q 諏訪下町営住宅の建て替え計画について。

A 25年度現況測量、地質調査、全体の基本計画、26年度実施計画、27年度から第1期工事。30年度まで4期の工事を行う予定。

Q 野鳥の森維持管理の関係で、緊急雇用補助の見込み・方向性について。

A 緊急雇用事業については、平成24年度で補助事業化は終了している。現在は一般財源で、維持管理をしている。

Q 消防団員家族福利厚生助成金の効果と反響について。

A 家族の方の福利厚生に役立っていると思う。消防団員の勧誘の向上にもつながればと考える。

Q 公民館の進捗状況に

ついて。

A 9月を目途に実施計画を完成する。完成時期については、来年の10月から11月頃の予定。

特別会計

国民健康保険

Q 保険税について値上げをしたが、未収金が増加し、収納率も変わっていないが、どう考えているか。

A 国民健康保険という制度の規則・基準にのっとってお支払いただくのが前提。滞納者の方

には納付可能な方法、相談を受けていく。

Q 平成24年度の一人あたりの一般会計からの繰入金額及び26年度の保険料の見直しの必要性について。

A 一人あたり、3万5745円。見直しについては、国保の状況だけでなく社会情勢、町民の負担等勘案して判断させていただく。

下水道事業

Q 普及率100%となつているが、未接続の事業所・個人への対応について。

A 下水道条例を制定し、昨年8月から事業所も含めて未接続の世帯に接続の指導等対応をしている。

Q ※平準化債の借入等危機感を持って、下水道会計を見ていかない

といけないと思うが、ご意見を伺いたい。

A 起債の元利償還も長期にわたり重いものであることは理解している。

※平準化債
下水道事業債の償還財源として後年度に負担を繰延べることができる起債

介護保険

Q 介護保険料の一人あたりの額について。

A 一人当たり、5万5758円。12カ月で割ると4646円で、従来のものについて激変ではない。

Q 滞納者のサービスの給付制限について。

A 昨年度は実績がない。介護の認定等が必要な滞納者の方については、調査の依頼等があった段階で話をして、ほ

とんどのケースで支払っていただいている。

後期高齢者医療

Q 医療費の給付額について。

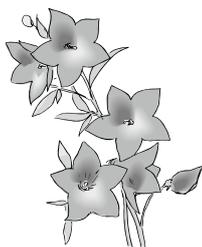
A 平成24年度が13億5044万8714円となる。

Q レセプト(診療報酬明細書)の閲覧について。

A 後期高齢者に備え付けられているシステムによって確認ができる。

Q 今年度保険料減額となつているが、来年度以降の見直しについて。

A 現段階では、まだ分からない状況。



賛成

自民蒼政クラブ

小玉 正義

「日の出町国民健康保険特別会計決算」に賛成する立場から討論を行う。

この制度は国民皆保険を支える制度として、他の保険に属さない方を被保険者とし、町が運営しており、被保険者の増加が著しく、厳しい財政運営が続いている。

この状況を打開するため、10年据え置いてきた国民健康保険税の見直しを行い、24年度から財政の健全化に向けて激変緩和を講じながら、税率、税額改正を行った。

この結果税収は3千51万9000円の増となり、一般会計からの赤字補てん額は3百1万9000円の減となった。

最近医療給付費の伸びが保険税の改訂を大きく上回る状況であり、更なる保険税の見直しも必要。このような状況下だが、24年度特別会計は被保険者の負担軽減も考慮され、後期高齢者支援金や、介護納付金にも配慮されている。以上の事から賛成討論とする。

反対

日本共産党

折田 眞知子

1980年では国保収入の57.5%を国が負担していたが、国の負担を引き下げ2007年には25%にまで引き下げた。多くの自治体は、国保税の高騰を抑えようと一般会計から国保会計に公費を繰り入れていく。町もこの10年間値上げを見送り、負担を増やさないうような努力された。

この努力を全く評価しようとしていない、国の対応こそ改められるべきことは強調しておきたいと思う。

国も格差と貧困が広がる中、平成22年度には所得が173万円以下の方たちには、7割、5割、2割軽減の措置を適用できるようにし、軽減が図られたが、保険料が払いきれず短期保険証の発行を余儀なくされている方もいる。

保険税をともに払えば生活が出来ず、高すぎる保険料で生活の質を落とし病気になるのでは、本末転倒ではないだろうか。以上反対討論とする。

賛成

自民蒼政クラブ

東 玉喜

日の出町下水道事業は、町の最重要施策として「甦れ！平井川・全町に公共下水道」をスローガンに昭和60年着手、平成18年度に普及率100%を達成した。

その後については、下水管渠施設の維持管理と地震対策及び長寿命化対策が重要課題となっている。

下水道事業会計の歳入は、下水道使用料、一般会計繰入金、下水道事業債が主たる財源となっており、歳出は下水道管渠施設の維持管理費、多摩川右岸秋川流域下水道建設負担金、公債費償還金が主なもので、多摩川右岸秋川流域下水道建設負担金が増となっている。

以上のことから、委員長報告のとおり平成24年度日の出町下水道事業特別会計決算に賛成討論とする。

反対

町民党

田村 みさ子

一般会計予算の4倍近い318億円を投資して完成した公共下水道だが、これまでに100億円を超過起債をして返済を続けてきた。

返済額が厳しいとしても資本費平準化債発行で後の時代に借金の先送りをすることは少子超高齢社会進行中においてはしてはならないと考える。

また、一般会計からの繰入金については、雨水からの流入水と未接続件数があるので使用料補てんの意味で一定の額は必要だが、基準内、基準外、赤字補てんなど解りやすい説明を求める。

下水道事業の継続と毎年の維持管理そして借入金の返済が公共下水道完成後の後世の行政に託された役割かと思うが、今後、安易に下水道使用料見直しという事態を招かぬためにも、繰入金の詳細、起債償還計画、そして接続件数増加による利用料増額計画等の諸資料作成と決算審査前提出を求めて反対討論とする。

一般質問

町政を問う

要旨

9人の議員

質 「健康マイレージ」
とは健康診断の受診や
スポーツ活動、その他
健康に関する諸活動に
参加することでポイン
トを集め、特典を利用
できるという制度で、
健康増進、介護予防、



健康マイレージの導入を

か くら おさむ
嘉倉 治

答 事業戦略として
有効な手段と考える

医療費抑制という観点からは是非導入するべきでは。
課長 「健康マイレージ制度」の趣旨は町としても理解するところであり、事業戦略として有効な手段であると認識している。今回の質問は、町民の明るく健康的な生活の実現に向けた提案と受け止め実施団体の内容や成果を十分に調査、勉強し検討させていただく。

ではどうか。利用者が一定のポイントを貯めた場合「つるつる温泉の利用券」をプレゼントするとか、商工会との連携を図ったりしてはどうか。
課長 懇談会の設置は必要に応じて検討するが、実施団体のリサーチや情報集約の必要がある。温泉入浴券を含め馴染みのある内容が望ましいと思われる。

他の質問
・省エネ・再エネを利用した町づくりを



健康づくりに一役

国民健康保険の動向は

こ だま まさ よし
小 玉 正 義



医療費上昇の影響大だが 税率改正は好効果

答

質 24年度に国保税改正を実施したが税収の伸び及び、改正前と周辺自治体との格差について問う。
課長 24年度の税収は3000万円(8.9%)。格差は変更前の3年間平均が一人当たり

り約2400円であったが、24年度の決算見込み数値では2000円となっている。
質 一般会計からの繰入金金の改善状況及び、改正前との格差について問う。
課長 繰入金金は300万円減の1億9500万円である。日の出町の一人当たりの金額については、過去3年間の平均額と比較すると約7200円減の3万5700円となり、減少傾向にある。



国民健康保険証

他の質問
・観光に関する事業の進捗状況は

質 広域化になる可能性があるが町の見解を問う。
課長 29年度目途に制度改革を行うこととされている。都道府県統一となった場合、市町村の規模により保険税が上げられる懸念があるが、今後示される国保制度改訂の内容及びスケジュール等を注視し対応していく。

質 各地で副反応の報告がされているが、町内ではどうか。
課長 接種の開始から現在まで町内からの副反応の報告はない。ワクチン販売時から25年3月までに全国で1196件の副反応が報告されている。町と

質 子宮頸がん予防ワクチンについて、町医師会に通知内容を伝えてご意見を伺い、協議の結果、集団接種を見合わせるのととした。対象となる中学1年女生徒と未接種の保護者には書面でお知らせした。
課長 町医師会に通知内容を伝えてご意見を伺い、協議の結果、集団接種を見合わせるのととした。対象となる中学1年女生徒と未接種の保護者には書面でお知らせした。

質 6月14日に厚労省は子宮頸がん予防ワクチンの「積極的な勧奨」を一時控えることを決定、自治体へ勧告したが、町の対応は。
課長 町医師会に通知内容を伝えてご意見を伺い、協議の結果、集団接種を見合わせるのととした。対象となる中学1年女生徒と未接種の保護者には書面でお知らせした。



子宮頸がん予防ワクチンの実施状況は

田村 みさ子

答
厚労省勧告を受けて 集団接種はしていない

質 6月14日に厚労省は子宮頸がん予防ワクチンの「積極的な勧奨」を一時控えることを決定、自治体へ勧告したが、町の対応は。
課長 町医師会に通知内容を伝えてご意見を伺い、協議の結果、集団接種を見合わせるのととした。対象となる中学1年女生徒と未接種の保護者には書面でお知らせした。

質 子宮頸がん予防には定期検診を受けることが最も効果的と考えられている。
課長 子宮頸がん予防には定期検診を受けることが最も効果的と考えられている。
他の質問
・防災行政無線について問う
・日の出地(町道)の修繕は



町と日本自動車連盟との 包括協定は

星野の 茂

答 町の観光と産業の発展に
寄与する

質 この協定は町と地域の振興発展のために活用していくとしてい

町長 町の関連施設のうち、つるつる温泉と

日の出山荘で会員（JAF会員）優待を行うとともにJAFを活用して町のPRや各施設入場者の誘致を図っている。今年度は産業祭への来客を図るため「JAFプラス」で日の出町の特集が予定されている。

質 この協定は町の観光と産業の振興に主眼を置いたものと考え、町の観光協会と商工会の受け止め方はどうか。

町長 町の観光協会や

商工会と連携して活動を広げていきたいと考えており、いずれの団体も積極的に取り組んでいくと伺っている。

質 都内では初の協定

ということであるが、ほかの自治体からの問い合わせなどはどの程度寄せられているのか。

町長 町やJAFに他の自治体から数件の問い合わせがあり、具体的に検討している市もあると聞いている。

他の質問

・町の土地利用計画のあり方は



調印式の様子

ひのでトマトと農協直売所で 町農業振興を

おおざわ ことえ 大澤 言枝

答 関係団体と協議し
地域ブランドとして浸透を



町は「ひのでトマト」を町農業振興策として進めるべき。

町長 ふれあい直売所

は、地元農家が育てた安全安心な採りたて野菜で数多くのお客様が来店している。ひのでトマトは美味しいトマトと好評を得て町の特産物として定着しブランド化されている。

質 生産状況と今後事業をどのような方向性で行っていくのか。

町長 塩田トマトは年間26t、町内の農家の生産は104t。安定



塩田トマト

供給を期待する顧客ニーズを見据え収穫期を延長した生産体制を試験的に実施。

質 農協直売所を町内外へ特産物PRの場としてJAFと連携し町農業振興のため施策展開すべきと思うが。

町長 関係団体と検討し「日の出町特産品」の野菜を決め印象付ける手法を考える。

他の質問

・防災・減災・インフラ
総点検は
・町民運動会・綱引き大会について問う

現在改定中の新地域防災計画について問う

かわ わき とし のり
川 脇 敏 徳



来々3月を目途に 都が計画を監修後決定

答

質 現在の改定状況と今後の予定について。
課長 11月頃に素案の取りまとめ後、防災会議にて「防災計画案」を作成、パブリックコメントを実施。その後東京都へ報告、回答による修正を行い「新地

域防災計画」が決定予定。

質 想定している「立川断層帯地震（M7.4）」で、日の出町における最大震度の予想は

課長 日の出町の東側が震度6強、中央部が6弱、西側が5強の想定。

質 予想震度によるハザードマップ（震度による被害予測マップ）の作成について。

課長 新防災マップへの書き込みは可能。

質 旧耐震基準の建物では、安全の限界が震度5強。新耐震基準通



日の出町地域防災計画

りの耐震等級1や耐震等級2（基準の1.25倍）でも震度6弱から倒壊・崩壊の恐れがある。被害想定は。

課長 「東京の被害想定報告書」に記載してある被害（東京都防災会議地震部）を想定。

質 新地域防災計画に基づく町民への予防対策等の広報啓発活動は

課長 概要版を作成し戸別配布と広報で周知

他の質問

- ・ 学校教育の現状と課題
- ・ 今後の動向は
- ・ メール配信サービスの導入について問う

質 町の危機管理の基本姿勢は。
課長 オスプレイの横田基地への配備が検討されているとすれば、住民の不安が増すことから、きわめて遺憾なことであり、日の出町としても到底容認できないものではない。
質 オスプレイ配備の撤回を求める要望書の提出を求める
課長 日米両政府が協議中であるとの報道を受け、横田基地周辺6市町で構成する基地対策連絡会では、国に対し配備検討の撤回を求める要請書を提出したのをはじめ、青梅市、あきる野市でも提出したと聞いている。
町は、事態の推移を



欠陥機オスプレイの横田基地配備について問う

おりた まま ちこ
折田 眞知子

答 町村会と共同歩調を

見守りつつ、東京都町村会と協議していく。

質 どの情報をもって確定状況と判断して、態度を決めるのか。

副町長 確定していないから行動を起こさないとはいっていない。事態の推移を見守りつつ、ある程度の動きがあれば検討すること

もやぶさかではない。周辺市町村基地対策連絡会等と色々情報交換はしている。動きは一応把握している。

他の質問

- ・ 高齢者福祉サービスの対象拡大と利便性の向上を
- ・ 貧困ビジネスに規制強化を求める



オスプレイ



歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを問う

青鹿 和男

答 文化財を拠点とした
施策を検討していきたい

質 日の出町に存在する古文書の解読化の現状は。

課長 資料所在目録に掲載されている資料のうち、重要と思われる古文書は複写をし、肝要の旧アーチスト・イン・レジデンスで保管している。より重要と思われる資料について解読を行っている。

質 文化財総合的把握モデル事業の各分野別に、調査報告がCD化されている。町内外の多くの住民が身近に活用することができるとの公開すべきと考えるが。

課長 CDデータの情報を印刷すると800頁に及ぶ資料となる。



日の出町史料所在目録

町のホームページに掲載するとサーバーの容量が足りず公表については、現在検討中。

質 指定文化財のほかにも、価値ある文化遺産が多く残されている文化財の見直し作業をすべきと考えるが。

課長 関連文化財群に沿って、文化財を把握し台帳化することや、町指定文化財登録制度の導入、文化財保護のあり方を見直しするなど、今後、検討していきたい。

町長のまちづくりについて問う

濱中 映慈

答 今後も皆様のための
町政を担う覚悟である



質 町長のまちづくりについて

町長 私は就任早々、町づくりの指針となる第4次日の出町長期総合計画「みんなでつくるう日の出町」を策定し、今後10年間の日の出町及び町政の目指



す方向を明らかにして、これを具現化するため年度ごとに「躍進ひので！ニュー5大作戦」を定め計画的に各施策進めてきたところである。また、継続することを重視し、更には行政サービスの向上を目指し、新たな施策を取り入れるなど、町政全般にわたって着実にハード、ソフトについて成果を挙げ、将来に対応が必要となる課題にも適切に取り組み、人口減少の時代にも関わらず、人口増加の一途をたどっている事から特段の失政はない。今後とも日の出町の将来に上を上げるよう、諸課題を仕上げ、あるいは解決への道筋を描いて次代に引き継ぐため、活力に満ちたまちづくり、心豊かな人づくりに取り組み、私は行政で培った50年の経験を糧に、次の4年間町民の皆様のための町政を担う覚悟であります。

他の質問
・ゴミ有料化・戸別収集
について問う

平成25年第2回臨時会が開催されました

平成25年10月22日第2回日の出町議会臨時会が開催され、下記の議案が審議されました。

<町長提出議案>

○…賛成 x…反対

| 番号 | 議案名 | 自 | 公 | 町 | 共 | 志 | 結果 |
|----|--|---|---|---|---|---|----|
| 62 | 日の出町公民館建設工事請負契約の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 63 | 平成25年度農村総合整備事業 集落農園橋梁整備工事 請負契約の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

次の定例会は12月に開かれます

12月定例会日程（予定）

| | | |
|-----------|------------------|--------|
| 11月25日（月） | 議会運営委員会 | 10:00～ |
| 12月3日（火） | 本会議（議案審議） | 10:00～ |
| 4日（水） | 総務まちづくり 常任委員会 | 9:00～ |
| | 厚生文教常任委員会 | 13:00～ |
| 5日（木） | 休会日 | |
| 6日（金） | 休会日 | |
| 7日（土） | 休会日 | |
| 8日（日） | 休会日 | |
| 9日（月） | 議会運営委員会 | 10:00～ |
| 10日（火） | 本会議（一般質問） | 10:00～ |
| 11日（水） | 本会議（一般質問） | 10:00～ |
| 12日（木） | 休会日 | |
| 13日（金） | 本会議（議案審議） | 10:00～ |

請願・陳情は！

12月の定例会では、11月20日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- ① 請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情書にはその必要がありません。
- ② 内容が2件以上に及ぶときは、1件ごとにまとめて提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し押印してください。連署者も同様です。
- ④ 陳情・請願書は原則として、A4版（縦長）の用紙に横書きで記入し提出してください。
- ⑤ 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
- ⑥ 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時間にご来庁願います）
- ⑦ その他、詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

〔問い合わせ 電話（597）0511 内360〕

議会日誌

第24回 東京都道路整備事業推進大会



10月31日、日比谷公会堂において開催されました。

西多摩地区議長会議員研修会



11月5日、奥多摩町福祉会館にて開催されました。

講師 / 中央大学大学院経済学研究科
教授 佐々木 信夫 氏
演題 / 「道州制のゆくえ」

編集後記

議会だより（168号）をお届けいたします。お手元に届く頃には、朝夕ひときわ冷え込む季節となっていることと思います。

さて、平成23年8月から2年を迎え、正副議長をはじめ、所管委員会の所属役職など、選挙、指名推薦、互選などの方法により今定例会で改選が行われ新たな体制となりました。議会だより編集委員会は、全員留任となり、次期、町議会議員選挙（平成27年）の改選時までの2年間務めることとなりました。

執行機関への監視・チェックの内容や政策決定過程の公開、議会活動の要点が、等身大で伝わるようにすること、また、出来るだけ早期に発行できることを目指してまいります。引き続き、議会広報を手にかけることで興味がわき、読んでみたくなる紙面への工夫や努力を編集委員一同で頑張っております。

編集委員長 青鹿 和男

ひので議会だより編集委員

川脇 敏徳 東 玉喜 小玉 正義
濱中 映慈 青鹿 和男 折田 眞知子
(編集委員長)

日の出町議会事務局

☎ (597) 0511 内線 360